

藤 支 発 8 5 0 号

令和元年12月13日

保護者 様

大阪府立藤井寺支援学校
校 長 綿 谷 輝 昭

令和元年度 第2回学校運営協議会について（報告）

令和元年11月26日（火）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：北川 末幾子（大阪府立大学 非常勤講師）

副会長：中島 智子（大阪大谷大学 特任教授）

委 員：北村 敦士（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）

竹澤 住江（卒業生保護者 しゅらの郷福祉会理事 支援センターしゅらの郷管理者）

松山 一雄（藤井寺市河北地区 区長）

松木 礼子（PTA会長）

*敬称略

1 学校見学

2 開会

- ・挨拶 校長 綿谷 輝昭
- ・配布資料の確認

3 報告

①令和元年度 進路状況について（進路指導部）

今年度障害者福祉サービス事業所を併用される方が多い。送迎で看護師が必要な医療的ケアの生徒が移用できる事業所がまだまだ少ないため保護者が苦慮される場面もあった。概ね事業所からは内定をいただき順調に進路決定している。

②授業アンケートについて（教頭）

6月は参観週間、9月は参観日を指定した状態でアンケート集計を行った。集計より「1、そう思う」「2、だいたい思う」の回答が多い。

③学校自己診断アンケートについて（教頭）

保護者アンケートについては、設問26問中23問が肯定的回答90%を超えていた。教職員向けアンケートに関しては設問27問中24問が肯定的回答80%以上であった。保護者・教職員に共通して評価の低かった設問は「施設・設備が整えられている」である。府に要望を挙げているが、今後も継続していく。

（委員）学校教育自己診断保護者アンケートの中で、いじめ対策についての設問に否定的な回答が1名いる。改善を進めてほしい。

（会長）安全面を考慮した環境づくりをしていただきたい。

④創立 40 周年に向けての取り組みについて

創立 40 周年を記念して、ミュージックシェアリングによるコンサート（6/11・10/4）、「ストレッチマンゴールド」収録（7/18）を行った。今後、ゆめ水族園（12/5）、創立記念行事（1/30）を予定。P T A・同窓会と連携して記念品を作成中である。

4 協議

①令和元年度「学校経営計画」について（校長）

現在の進捗状況を報告した。

1 「資質向上を基とした学校力の向上」として

- ・全学部児童生徒を対象に「身体状況把握シート」を作成した。今後自立活動や教科の指導との連携を進めていく。
- ・今年度から 3 ヶ年計画で取り組んでいる授業者支援会議システムについて、各学部実施できている。1 2 月には東京都より実践校の校長を招いた研修会を実施予定である。
- ・視線入力装置について、府立支援学校教職員に公開した研修を実施した。本校での活用について全国肢体不自由教育研究協議会で報告を行った。
- ・訪問指導体制の再構築ということで、訪問担当者とともに O J T の形で研修を実施した。夏季休業に訪問まつりを開催した（本年度初めて）。

2 「南河内地域における支援教育センター的役割の充実、地域連携の深化」

- ・地域の学校との協働研究を推進しており、今年度は松原市 1 校、羽曳野市 1 校との協働研究を実施した。
- ・ボッチャの普及啓発を推進するために交流会・体験会を実施した。

3 「学校・家庭・地域との連携と安全・安心な学校づくりの推進」として

- ・事故の未然防止等より、全職員を対象にアレルギーの基礎知識と本校の状況について研修を実施した。
- ・防災体制の確立を目指し、学校防災アドバイザーを講師に招いて防災研修を実施した。地域の諸学校諸機関に公開する研修も予定している。

（委員）火災訓練や防犯訓練は、実際に想定しやすい形で行えるとより対策を考えやすい。

（事務局）現在は大規模災害について取り組んでいる。訓練を重ねることで、課題が生まれ、解決に努めている。バージョンを増やしていけたらいい。教職員だけではわからないことも多いので、学校安全総合支援事業に依頼し指導・助言をいただいている。

（委員）大和川の氾濫については対策があるか。

（事務局）現在は地震災害を中心に取り組んでいる。大和川が氾濫した場合、5 m の浸水、数メートルは泥だらけにあることが想定されている。今後の課題はたくさんある。

（会長）医療の分野からも、停電対策に蓄電器が必要。

（委員）本校の児童生徒は孤独な状態を長期化させてはいけない。いち早くレスキューしてもらうための手立てを考える必要がある。

5 協議のまとめ（会長）

次回連絡

閉会

（以上）